

**眼科手術  
実力医療機関**

鹿児島県鹿児島市

**公益社団法人 昭和会 今給黎総合病院**

**最新の手術で**

**高度な眼科医療の提供を目指す**

**進化する白内障治療で  
より良い見え方を**

高齢化に伴い増加する眼疾患。視覚は高齢者のQOL（生活の質）を維持する重要な要因となるため、その医療は日々進化し続けている。鹿



**眼科部長  
高橋 範雅**

たかはし・のりまさ ●日本眼科学会認定眼科専門医ほか。

鹿児島市内にある今給黎総合病院の眼科は厚生労働省が指定する先進医療「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」の実施設として認定されている。ここで執刀医として活躍するのが高橋範雅医師だ。

「白内障は年齢と共に誰でも発症するものです。各患者さんに合った適切な多焦点眼内レンズを選択することで、近視や老眼、乱視も併せて治療できます。仕事や生活スタイルに合わせた良好な視機能が得られるように術前の十分な説明も大切です。わずかに4mmの小切開で済むので眼への負担も少ない手術となり、出血や感染症のリスクを減らせるのが大きなメリットとなります」と高橋部長は語る。

**総合病院の特色を生かし  
多様な疾患や難症例に対応**

高橋医師は糖尿病網膜症や網膜剥離、黄斑前膜などの疾患にも27ゲージシステムを用いた網膜硝子体手術で対応する。切開創はわずか0.4mmのため、無縫合で手術を終えることが可能となったが、非常に細かい手術器具を用いるため、高度な技術が要求される。また、緑内障の手術も手掛ける。鹿児島では唯一の線維柱帯マイクロバイパスシステムの実施医でもある。これは白内障手術と同時に行うもので、1mmのチャンネルチューブを眼内に留置することで眼圧を下げる治療だ。緑内障の点眼薬を減らすことができるため、緑内障患者の

日々の負担を減らすことが期待できる。

「患者さんの約9割は他院からの紹介です。他科の専門医も揃った総合病院なので、認知症や糖尿病などで手術が困難な患者さんなど、色々な症例に対応できるという強みがあります。私自身も難症例に対応するために常に最先端の技術や知識の習得が欠かせません。年間2000件近くの手術を熟練したスタッフの協力のもとでスムーズに行っています。鹿児島には離島も多いため、通院が難しいケースには初診当日に手術を行うなど、患者さんの立場に立った柔軟な対応もしています。これからも先端的な眼科医療を追求していきます」と高橋医師は語る。



総合病院としての利点を生かしつつ眼科医療を提供

**INFORMATION**

受付時間：午前 8:00～11:30  
午後13:30～17:00  
休診日：日・祝・年末年始（眼科は土曜日休診）

〒892-8502 鹿児島県鹿児島市下竜尾町4-16  
**TEL.099-226-2211**  
<http://imakiire.jp/index.html>

※自由診療：多焦点眼内レンズ 片目39万7000円（税込）。先進医療として実施するため、術前・術後の投薬・注射・検査などの費用には健康保険が適用。

**手術実績**（2017年7月1日～18年6月29日）

白内障手術	1239件
（内、多焦点眼内レンズ使用53件）	
眼内レンズ縫着術	32件
硝子体手術	98件
増殖硝子体網膜症手術	5件
緑内障手術	34件
（内、線維柱帯マイクロバイパスシステム使用8件）	
硝子体内注射	220件
その他手術	238件
<b>合計</b>	<b>1866件</b>